

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・9月から学校が始まり、運動会等の予定もあるので、品物は動く。
		スーパー（店長）	・来客数、販売量ともに上向きであり、前年をクリアする売場が、かなり増加していることから、今後2、3か月はやや良くなる。
		コンビニ（経営者）	・気温に合わせて、おでん、中華まん、ホットドリンク等の品ぞろえを行うことが、今後の売上の伸びにつながる。老舗の早期商法、新規商品のペース取り、食品の試食等を積極的に行うことで、数字は伸びる。
		衣料品専門店（統括）	・地元の祭りが10月にあり、例年通り、祭用品の売上が期待できる。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型車の投入により、販売量の増加が見込まれる。
		自動車備品販売店（経営者）	・車は毎日使うものであり、古くなり、故障もする。相応の需要が上向き時期なので、3か月後はやや良くなる。
		自動車備品販売店（経営者）	・新サービスのメニューや、販促を考え、社員の意識改革をして、良くしようと思えるようになってきている。
		通信会社（社員）	・今まで右肩上がりの伸びが続いてきた新規加入数は、市場の成熟化に伴い鈍化傾向にある。今後は買い替え需要が市場を支えていき、非音声分野の伸びも期待できる。
	住宅販売会社（経営者）	・客の打ち合わせ内容が、見積などの具体的なものに変化している。この2、3か月は、契約、着工という動きになる。	
	変わらない	商店街（代表者）	・リストラ、倒産、失職等、環境が非常に悪くなっているため、消費者の懐が非常にさびしく、購買の増加する材料が全くみられない。
		商店街（代表者）	・雇用が安定していないことに加え、就業時間の短縮や残業もないため、収入がかなり減少している。客の使う金額も、少ないまま変わらない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・農薬、大手食品メーカーの問題が話題に上り、消費者は不信の目を向けている。様々な業界で、同様のことが起こらないことを願っている。
		百貨店（販売促進担当）	・8月は、低迷していた紳士重衣料の動きが良く、今年のトレンドのレザージャケット等が、早くも活発に動き出している。消費動向にやや期待感があるが、その他の商品群では、決め手になる好材料がないので、総じて変わらない。
		スーパー（経営者）	・来客数は伸びてきたものの、客単価は依然として4%低下しており、この状況は続く。大手食品メーカーの偽装問題、狂牛病の問題等で、精肉の売上が落ち込んでいる。
		スーパー（副店長）	・食品業界の偽装事件や中国産野菜の農薬問題等で、客の食品に対する不信感が高まっている。販売側からは過剰反応と思えるほど、安全性に対して必要以上の神経質さをみせる客もいることから、消費マインドは改善しない。
		コンビニ（経営者）	・建設業関係の来客数が減少している。近隣の大手メーカーでは、従業員を削減している。秋冬にかけては、あまり明るい材料がなく、変わらない。
		家電量販店（店長）	・買上客数の増加を図らなければ、売上は拡大しない。現状、来客数が伸び悩んでいるので、平日対策、土日のイベント等の企画を多く実行し、来客数の増加につなげたい。
		乗用車販売店（販売担当）	・来客数は変わっていない。低価格車しか売れず、客は車がぶつかっても我慢しているのか、安い修理ばかりで、大きな修理や板金は減少している。
高級レストラン（店長）		・客の様子から、多少の下げ止まりが感じられるが、実際の売上には反映しておらず、前年並みで推移している。	
スナック（経営者）	・先の予約は順調に入っており、9、10月はそれなりに期待できる。ただし、フリー客の動向が読めないため、総じて変わらない。		
都市型ホテル（スタッフ）	・相変わらず景気の良くない状態が続く。県知事選を控えているが、選挙があると、ホテル、飲食関係は悪くなるのが恒例である。		
タクシー運転手	・収入が右肩下がりの中で、秋口から県内に他地域の大手タクシー会社が参入する。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・周辺地域で大手企業の工場閉鎖があり、1千7百名ほどの失業者が出る。仕事の性格上、どうにもならないほどの打撃である。
		観光名所（職員）	・儉約ムードが一段と強くなっていることから、レストラン、ホテル等の来客数増加は期待できない。
		遊園地（職員）	・利用客の消費マインドの急回復は、期待しにくい。
		ゴルフ場（従業員）	・秋のスポーツシーズンによる来場者増加を見込んでいるが、予約状況は芳しくない。
		ゴルフ場（支配人）	・夏にリゾートコースに取られていた客が、9月から秋にかけて戻ってくる可能性がある。予約に関しては、9月は少し厳しいが、10月は非常に安定している。
		設計事務所（所長）	・民間、公共ともに、発注物件に期待が持てない。
	やや悪くなる	スーパー（経営企画担当）	・競合他社が、深夜12時、1時まで営業する店舗を増やしており、昼間の客がそちらに取られる。
		コンビニ（店長）	・商品の動きが悪く、祭や花火大会が開催されても、大人は必要最小限の物しか購入しない。子供も小遣いの範囲内の買物しかせず、大人にねだっても、なかなか買ってもらえない場面が目につく。良くなる要素は見出せない。
		乗用車販売店（営業担当）	・地域産業経済の中核的役割を担う大手電機メーカーが2工場を閉鎖し、その影響が大きく出てきている。購買力の低下が顕著であるため、期待は持てない。
		一般レストラン（経営者）	・夏が過ぎると県外客の来店も減少するので、今後3か月には期待できる要素がない。
旅行代理店（従業員）		・料金は底値を打った感じであるが、今後は再び、客の奪い合いが始まると考えられるため、やや悪くなる。	
その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）		・北関東の新車販売は、対前年比で50%と半減している。顧客の中には、親が年を取って車両を手放し、子供は他店で整備を行い、困った時しか来店しないため、その家族との付き合いも薄れてしまう客もいる。	
設計事務所（所長）		・切り詰められるところは切り詰めているが、仕事の絶対量が減少しており、月毎に苦しくなっているのが実感できる。建設業に限っていえば、パイは増えてこないで、どのように健全経営にもっていくかを考えている。今後、悪くなることはあっても、良くなることはない。	
	住宅販売会社（経営者）	・地域の大手電機メーカーで、3千人の人員削減が行われることになり、住宅需要に大きな影響を与えている。景気回復どころか、活力さえ見出せない状況である。	
	住宅販売会社（経営者）	・街中の商店等で、業況悪化により閉店をするケースが依然として多く、街が空洞化している。更に、大型店が郊外にショッピングセンターを出す計画があり、大店立地法が空洞化に拍車をかけている。	
悪くなる	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・地域では観光業の低迷が目立ち、地元の大手メーカーの一部吸収合併の話もあり、かなり悪い状況である。たこのように自分の足を食べながら、この難局を乗り切ろうとしている。	
	一般小売店〔青果〕（店長）	・ただでさえ業況が良くない上に、農薬の問題が出てきている。県産の梨、メロンの農薬問題で、客も敏感になっており、贈答品の減少が予想される。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・例年であれば、大きな団体の宿泊、宴会、会議、レストラン、割ぼうなどの予約が2、3か月先まで入っているが、今年は一向に予約の入る気配がない最悪の状況である。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・年末にかけて、例年の季節商品の受注は見込まれる。 ・地元伝統工芸の美術館がオープンする予定であり、来館者を対象とする体験工房を計画しているため、何らかの動きはある。
		一般機械器具製造業（経営者）	・中国への輸出を中心に、建設機械部品が増加傾向にあり、総加工高の75%を占める自動車部品も、若干増加する見込みである。
		電気機械器具製造業（経営者）	・10月までは厳しいが、11月以降の受注量はかなり増加している。
	変わらない	食料品製造業（営業統括）	・大手食品メーカーの事件等で、消費者は食品に対する目が非常に厳しくなっており、購買意欲が減退している。今後、この状況を脱するのは難しい。
窯業・土石製品製造業（総務担当）		・業界や周囲を取り巻く環境が夏枯れ状態で、不渡りも出てきている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		電気機械器具製造業（経営者）	・大手電機メーカー2社で、大量の人員整理が発表され、7月から各方面に影響が波及している。3か月後は、現状と変わらない。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・9月になれば、小売店も様々なセールを打ち出すので、販売はやや活発になるが、セールで売れた分、正規価格品の売上が減少する悪循環が解消されるかどうかのポイントとなる。
		建設業（経営者）	・業界全体への発注量が減少しているため、競争は激化し、受注量の減少傾向に歯止めがかからない。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・衣料品問屋2軒から、メーカーが何を開発したらよいかつかめずに、展示会やファッションショーを取り止め、新作の発表を控えて、カタログのみを発行していると聞いている。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・客の様子から、設備投資が活発になるとは考えられない。最低限必要な投資しか実施しない状況が続く。
	やや悪くなる	金属製品製造業（経営者）	・公共事業の発注等が不透明で、期待が持てない。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先の受注量、単価などは全て低下しており、景気が良くなる見通しは全くない。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・3か月後は、対前年比で10～15%の受注の減少を見込んでいる。新車は減産基調に入っている。
		金融業（経営企画担当）	・製造業では、半導体製造企業を中心とした一部企業において、受注がやや上向いているものの、全般的には厳しく、秋以降の受注見通しにも不透明感がある。
		その他サービス業〔放送〕（営業担当）	・観光業では、旅館、民宿の9月以降の予約状況が学生、一般客とも大幅な減少になっており、厳しい経営環境が続いている。
悪くなる	不動産業（経営者）	・大手企業を中心に長期契約の値引要求が強いため、新規受注では埋めきれず、売上、利益とも減少傾向にある。	
	広告代理店（営業担当）	・景気が上向いているのは一部だけで、大部分のサービス業などでは、悪くなっている。	
雇用関連	良くなる やや良くなる	求人情報誌製作会社（経営者）	・あらゆる業種と取引があるが、取引先の資金繰りがかなり悪化しており、入金の遅れ、撤退等、運転資金が逼迫した状況が非常に目立っている。県内の金融機関から、年末まで体力が持たない企業が非常に多いと聞いており、先の見通しは暗い。
		変わらない	人材派遣会社（経営者）
	変わらない	職業安定所（職員）	・大型店の撤退、中小商店の売行き不振、大手IT関連企業のリストラ、公共事業の抑制に伴う土木、建設業の低迷など、依然として明るい材料に乏しい。
		職業安定所（職員）	・有効求人数が、対前年比で12か月連続して減少している。
		職業安定所（職員）	・今後も、事業主都合で離職した求職者の増加が見込まれ、厳しい雇用情勢は続く。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・回復基調の業種も一部あるが、全般的に安定した雇用に結びつく求人は限られており、求職者の滞留が続くので、景気も足踏み状態が続く。
		職業安定所（職員）	・大手メーカーの県内工場及びその関連企業で、1千5百人を超える離職者の発生が本格化しており、地域の雇用不安が一層高まる。
		人材派遣会社（社員）	・得意先からの値引要求に応じられず、発注業者を変更されてしまっている。他にも、受注金額を始めとして、厳しい条件を求められることが多くなり、採算の面からのめない要求が増加している。
		民間職業紹介機関（経営者）	・特に製造、建設関係が良くなく、海外移転、業務縮小で、社員採用をほぼ停止している。付加価値の高い技術、ノウハウを持つ人のみを採用する傾向が目立ち、業種を越えた労働力のシフトが更に激しくなる。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	・大手電機メーカー2工場の生産の海外シフトにより、約3千名を対象とした人員削減に伴う退職者は、年末までに、1千7百名程度に膨らむ見通しである。職安などを中心として、再就職の道が開かれるよう企業側に求めており、新卒雇用情勢への先行き懸念材料となる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	-	-